

[特集]福祉作業所ひばり園「利用者のみなさんに聞いてみました!」

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第151号

発行2022.10.16  
年4回発行社会福祉法人そよかぜ  
羽村市栄町3-3-1  
042-578-0855  
fax.042-578-0466

# そよかぜだより



## [特集]

# 福祉作業所ひばり園

「利用者のみなさんに聞いてみました!」

**福**祉作業所ひばり園で行っている福祉サービス事業の一つに就労継続支援B型事業があります。定員70名、職員数約20名という法人の中で一番大きな事業所ですが、令和3年度は90.1%という高い通所率を誇っています。就労継続支援B型とは、障害や難病のある方のうち、一般企業等で働くことが困難な方に就労の機会を提供する障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの一つです。障害や体調に合わせて、支援を受けながら仕事をすることができます。そして、作業で得た収入は毎月工賃として支給されています。

ひばり園は知的障害を主たる対象としていますが、身体障害、精神障害、発達障害など様々な障害を受け入れています。利用者は羽村市内に限らず、青梅市、福生市、瑞穂町など近隣の市町から通われる方も少なくありません。作業は近隣の企業から請け負っている自動車用ベアリング

組み立て、農耕具部品個装、市指定ごみ袋パッケージなどの他、市内を回る資源回収、企業内に作業スペースをお借りして、職員、利用者5名ほどで工業部品加工作業を行う施設外就労、リサイクルショップくれよんの運営も行っています。

ひばり園を見学される方は皆さん口を揃えて「工場みたい」とおっしゃいます。ベアリング組み立てに使用する治具のカチャカチャという金属音や利用者のみなさんのが集中して作業に取り組む姿、テキパキと動き回る職員の姿が工場の雰囲気を醸し出しているようです。利用者のみなさんの手元を見ると、細かな部品を器用に組み立てていく姿に驚くことでしょう。毎日座って細かい作業を繰り返し行うことはとても重労働です。それでも「ひばり園が好き」、「仕事が好き」と言って毎日通ってくださる利用者のみなさんの声をお聴きください。

福祉作業所ひばり園

# 利用者の声

毎日、作業に励んでいる利用者のみなさんは、いろんな想いを持ってひばり園に通っています。その秘めたる想いや、楽しみにしている工賃のつかいみちを聞いてみました。

## 【質問】

### 「ひばり園の魅力をおしえてください」



お仕事をすればするほど  
お金がもらえるところ



アットホームなところ  
(職員と利用者の)上下関係がなく、  
言いたいことが言えるところ

作業(ペアリング、資源回収、やまびこ)  
ひばり園は仕事をするところ  
仕事が好き



友達付き合いができるところ  
コミュニケーションが  
広くとれるところ  
憧れの先輩がいるところ



お仕事と  
お昼ご飯と  
仲間が好き



みんなに障害があっても、  
カバーしながら作業をやれるところ  
休みの日、  
ひばり園の仲間と出かけられること



ひばり園のお仕事が好き  
職員さんとのお話しが好き



優しいけど厳しいところ  
休憩のおやつが楽しみ  
職員と話すこと



環境がいい  
新しい建物、自然がある



私を育てくれたところ  
成長させてくれたところ



仕事をするところ  
仲間と会える場所  
仲間と遊べる場所



特に魅力なし  
でもくせになるところ



## 【質問】

## 「工賃のつかいみちをおしえてください」



プリキュアの映画を観に行く  
パンフレットを買う  
ドラえもんの塗り絵を買う  
そのために毎日がんばっている



一週間に一度、  
好きなお店でのランチ  
(昭島のモリタウン、河辺のイオン、  
拝島のイトーヨーカドー、  
立川のルミネ、リンガーハット)

スマイルのパンと  
モンパルのパンを買う  
Suicaを使って買物(仕事着)を買う



たばこ 床屋  
コーヒーなど日用品  
残りは月末まで  
使えるようにとっておく



トミカ  
自衛隊(フルインパルス)のグッズ  
車の維持費(ガソリン代等)  
携帯電話代



病院代  
セリアで部屋に飾るものと、  
くれよんとかわいいものを買う



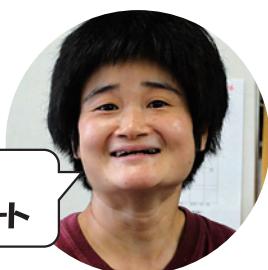
いろんな種類の缶コーヒー  
本、フラレール、トミカ



携帯電話代、服を買う  
ラーメン屋巡り(カップラーメン含む)  
家にいれる



たばこ  
デート代



宝くじ、本、生活費



趣味に使う(アニメグッズ、ライブに行く)  
洋服を買う、家に少しいれる



あめ  
コンビニでご褒美デザート

## 清水基金から助成を受けて

日々の作業や利用者の方の支援において、車両はなくてはならない存在です。これまで苦楽を共に歩んできた軽自動車の車両ですが、老朽化から故障等が見られ修理をしながら使用してきました。加えて、軽自動車でしたので、作業等で積める荷物も制約があり、作業の効率などを考えると課題を抱えておりました。

そのため、社会福祉法人清水基金の助成事業に申請をさせていただいたところ、利用者・職員の願いが通じたのか助成の採択を受けることが出来ました。

昨今の半導体不足で自動車産業も納車が遅れている情報もあり、いつになるか心待ちにしておりました。9月に入り、晴れて念願の車両が納車されました。車両が大きくなり、作業の荷物の積み込みなどがしやすくなりました。加えて、技術革新もあり安全装備も充実したことにより、利用者の方も含めて安心感が格段に向上したと思います。

今後は、助成をいただいた車両を使って、作業や行事などで有意義に使わせていただきたいと考えております。

## コラム「福祉の時をつかむ」

利用者・職員ともども大切に車両を使わせていただき、新しい思い出を作っていきたいと思います。誠にありがとうございました。



そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

## 各事業所からのお知らせ



### 福祉作業所ひばり園

昨年度より秋草学園短期大学地域保育学科3年生の実習を受け入れています。作業の体験や職員の検品作業などにも携わっています。学生がひばり園に来ることを利用者の方もとても喜んでおり、通所するモチベーションアップにも繋がっています。昼休みには一緒にカードゲームやオセロをする他、恋愛のことなど実習生にしか話せない話題で盛り上がっていました。楽しく学んでもらう事で障害福祉の未来にも繋がることを期待しています。

### リサイクルショップくれよん

くれよんでは新しい自主製品の制作を始めました。提供品で頂いたドライフラワーを利用した、しおりとコースターです。30円とお買い得な価格になっております。色とりどりのデザインはお客様にも大好評です。秋も深まり、落ち葉降りそそぐれよんへ是非お立ち寄りください! 併せて、ご提供品もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。



### 福祉作業所スマイル工房

10月から商品の価格改定をすることとな

りました。従来の価格を据え置き、美味しいパンやクッキーを提供できるよう日々努力を重ねて参りましたが、今までの価格を維持することが大変厳しい状況になっております。大変心苦しいお願いでございますが、今後とも皆さまにより一層美味しいパンを提供できるよう努めて参ります。

### 障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

## 資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

### 編集後記

今号では、ひばり園に通う利用者のみなさんの思いを聞くことができました。毎日通ってきて、作業に励んでいる姿を見ているだけではわからないことでした。みなさんそれぞれに働く理由があり、人生を彩る楽しみがあるのだなど、あらためて知ることができました。そして、ひばり園がこんなにも利用者のみなさんに好かれているということ、すてきな笑顔をカメラ越しに見ながらの編集作業を通して、とてもあたたかい気持ちになりました。

## 各事業所の連絡先



### 社会福祉法人そよかぜ事務局

☎ 042-578-0855

### 福祉作業所ひばり園

☎ 042-555-5512

### 福祉作業所スマイル工房

☎ 042-578-2723

### リサイクルショップくれよん

☎ 042-578-2575

### 羽村市障害者就労支援センター エール

☎ 042-570-1233

### 指定特定相談支援事業所ゆい

☎ 042-555-5512